2016年（平成28年）6月 6日（月曜日）
（NO，12086） 赤口（旧 5月 2日）

夕刊 矢祭

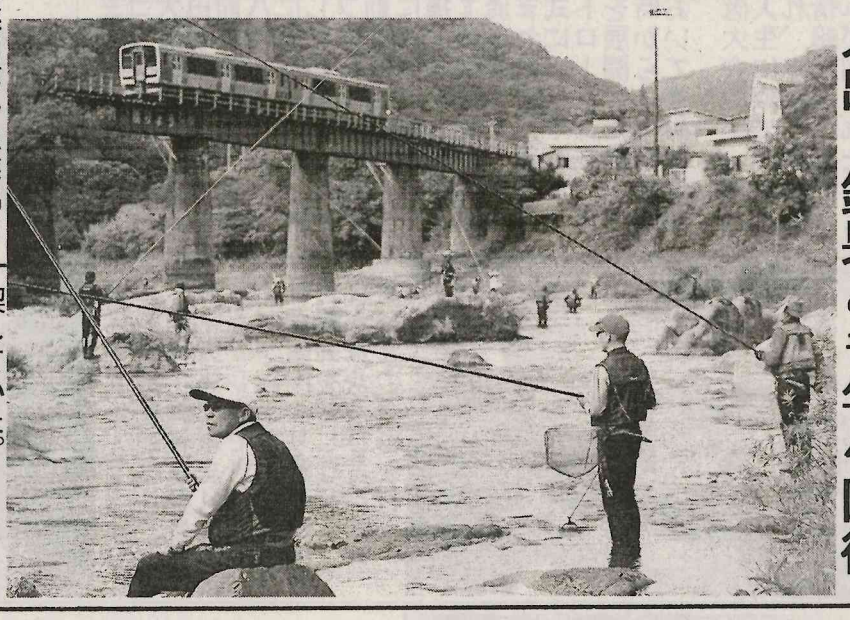
夕刊矢祭新聞社 日刊（土曜・日曜・祝祭日休刊） 月額1，000円
矢祭町東舘字桃木町42－2 発行人 菊池正典 ☎46－3508 昭和57年12月6日第3種郵便物認可

久慈川アユ漁待望の解禁

大震災以降一番 人出・釣果とも年々回復

久慈川第一漁業協同組合（佐川泉組合長）の久慈川アユ釣りは、東北地方のトップを切り五日午前五時の花火を合図に解禁された。茨城県境から矢祭町、棚倉町双ノ平橋まで及び間川の上流をはじめ、東日本大震災以降一番の人出・釣果とも年々回復傾向にあり、今年も過去最高の人出が予想された。

町観光協会がセレモニー開き祝う



喫していた。

矢祭町観光協会（古張允会長）主催による「川開き」ともいうべき恒例のアユ解禁セレモニーは、同日午前八時から矢祭山公園内久慈川沿い広場において開催された。

町観光協会、矢祭町商工会、矢祭町観光物産協会、矢祭町観光ボランティアガイドの会、矢祭町観光交流協会、矢祭町観光協会女性部、矢祭町観光協会青年部、矢祭町観光協会ジュニア部、矢祭町観光協会シニア部、矢祭町観光協会ファミリー部、矢祭町観光協会ヤング部、矢祭町観光協会レディース部、矢祭町観光協会ミドル部、矢祭町観光協会ベテラン部、矢祭町観光協会ゴールド部、矢祭町観光協会シルバー部、矢祭町観光協会ブロンズ部、矢祭町観光協会プラチナ部、矢祭町観光協会ダイヤモンド部、矢祭町観光協会トパーズ部、矢祭町観光協会エメラルド部、矢祭町観光協会ルビー部、矢祭町観光協会サファイア部、矢祭町観光協会オパール部、矢祭町観光協会アクアマリン部、矢祭町観光協会ターコイズ部、矢祭町観光協会ラピスラズリ部、矢祭町観光協会アメジスト部、矢祭町観光協会ガーネット部、矢祭町観光協会ペリドット部、矢祭町観光協会シトリン部、矢祭町観光協会ローズクォーツ部、矢祭町観光協会ムーンストーン部、矢祭町観光協会ブルートパーズ部、矢祭町観光協会ブラックオニキス部、矢祭町観光協会ホワイトオニキス部、矢祭町観光協会レッドオニキス部、矢祭町観光協会イエローオニキス部、矢祭町観光協会グリーンオニキス部、矢祭町観光協会ブルーオニキス部、矢祭町観光協会パープルオニキス部、矢祭町観光協会ピンクオニキス部、矢祭町観光協会ブラウンオニキス部、矢祭町観光協会グレー

鈴木春男さんが優勝飾る

第三十一回矢祭町民親善ゴルフ大会

３８人が参加し好プレー展開

第三十一回矢祭町民親善ゴルフ大会（矢祭町ゴルフ倶楽部主催）は、五日午前八時三十分スタート、八十三人が参加し好プレーを展開した。

表彰式後、イベント広場で行われた開会式で、棚倉大会長（青砥光利善）が「天候に恵まれ事故なくプレーでき、大変よかった」と講評と乾杯音頭により和やかに懇親会を催しながら上位入賞や飛び賞、特別賞などの表彰を行った。

来賓祝辞を述べた内田正美競技委員長が「天候に恵まれ事故なくプレーでき、大変よかった」と講評と乾杯音頭により和やかに懇親会を催しながら上位入賞や飛び賞、特別賞などの表彰を行った。

◎優勝＝鈴木春男８５、１４・４、７０・６、○準優勝＝熊田学８３、１２、７１、○三位＝鈴木秀夫９７、２５・４、７１・８、▼豊田隆三、石井光一、鈴木太郎、坂浦江、みつ夫、富美夫、◎ベスグロ賞＝石井光夫８０、◎飛び賞＝木芳明、鈴木尾片野亦雄一、永駿佑雄、光利目賞＝鈴木柳原律子、房代、一青砥登斎藤勇也、十二位＝本多誕生日賞＝佐川寿則、十一位＝金沢栄寿、十位＝大橋仁代賞＝藤田義広、九位＝熊田学、八位＝石川町総合体育館、七位＝西郷第二体育館、六位＝泉中央体育館、五位＝泉崎中央講堂、四位＝白河市体育館、三位＝棚倉町総合体育館、二位＝本田正一、一位＝鈴木実、ドラコン賞＝富永駿佑、ニアピン賞＝沼田秀、三十則賞＝高橋仁代、二十代賞＝藤田義広、一度賞＝山年則寿、ホールインワン賞＝該当者なし、参加賞＝ボール、ティー、ネーム入りタオル、ゴルフ用品、ゴルフボール、ロストボール、ゴルフ練習場利用券、ゴルフ場利用券